

Sibata Orange Press

シバタ オレンジ プレス ■ 毎月25日発行 vol.23

特集 駅前複合施設に子育て支援機能

「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

発行人＝阿部 聡 平成25年8月25日号

発行所／(有)アミックス
〒957-0021 新潟県新発田市五十公野 4837-6
tel 090-2733-3568 fax 0254-23-6946

菊水

ふなぐち 40周年 ANNIVERSARY SINCE 1972 あの頃から。

ふなぐち 菊水 番しぼり

菊水酒造株式会社
〒957-0011 新潟県新発田市島潟750
www.kikusui-sake.com

お問い合わせお客様相談室
0120-23-0101 FAX 0120-23-5254
受付時間/平日10:00～17:00
(土・日・祝日を除く) お酒は20歳になってから。

手狭な現在の「親子プレイルーム」。 早急に駅前に広くて明るい施設を

平成27年度末までにJR新発田駅前に複合施設を建設、一部図書館機能を持たせ、子育て支援施設（キッチンスタジオ、多目的ホール併設）を充実させる計画が進んでいる。図書館は現図書館をすべて移設するのではなく、現図書館は「歴史書館」（仮称）として

10万都市にもかかわらず 設置時から改善のない現状

現在の子育て支援機能は、旧東北電力社屋の「いきいき館」と「猿橋コミュニティセンター」さらに各地児童館などに分散している。その中心の「いきいき館」は平成13年に「子どもから高齢者まで誰もが自分らしい暮らしが送られるように」と福祉と健康づくりを推進するために開設された。従って、親子プレイルーム、子ども相談室だけでなく、総合健康福祉センターや包括支援センター・身障者ふれあいルームなども入居している。

この施設の第一の問題点は、昭和39年建築のため老朽化が激しく耐震構造上危険建築物であること。子どもの遊び場として建築されたものでないことから使い勝手が悪い。親子プレイルームなど、子どもがぶつからないように細心の注意が必要だが事務室からは見通せない。授乳室やおむつ交換スペースも離れていて不便だ。

第2の問題点は圧倒的に狭いこと。プレイルームの広さは144㎡しかなく、これは以前紹介した紫波町の1/3以下、塩尻市の1/10である。その結果、受け入れを0～3歳児に制限するしかなく、例えば2歳と4歳の兄弟姉妹を連れてきた場合は受け入れることができない。また、0～3歳児といっても発育に合ったスペース分けができなくて危ない。当然、室内遊具などを

て整理保存研究に機能を特化、充実させることは前号で詳述した。また、商業施設を誘致する予定の民間棟の建設計画も進んでいるが、今号では複合施設のもう一つの核となる「子育て支援施設」の設計を前にして、新しい計画に生かすべく、現状を取材した。

十分に設置することもできない。月平均約1千人の利用者に対し職員は親切な対応で評判もいいが、「狭さ」の問題は深刻で、いかんともしがたい。

また、開設当初は「おもちゃ図書館」が併設される予定だったが、各種イベント時に使用する道具の置き場がないため、現在は倉庫として使われている。これは現図書館に設置された「勉強室」が資料保管室・閉架蔵書室が満杯になったためにつぶされて資料保管室になっている事情と同様だ。

第3に、プライバシーの問題など配慮が必要な「子ども発達相談」「児童家庭相談」「要保護児童相談」の件数が増加しているにもかかわらず、専門の相談室が2つしかなく、対応に支障をきたしていること。

第4に駐車場が社会福祉協議会など他施設と共用で35台分しかなく、常時満杯のため民間駐車場駐車券支給（年間100万円弱）で対応していること。民間駐車場を利用する場合、保護者は子どもの手を引きながら大きな荷物を持たなければならず、とくに天気の悪いときや冬場は危険だ。

近隣市町村の類似施設に 新発田の利用者が移動

新発田市の「親子プレイルーム」を利用したい人の数は増えているのに、実際の利用者は減っているという不思議な現象が起きている。平成20年度の利用者は1万7千人強だったが、平成24年度には1万1千人

強と約3割減少。これは0～3歳児の保育可能数が242人増えていることにもよるが、近隣市町村の同様の施設に利用が移っているからともいえる。新潟市東区の「わいわい広場」を取材したら、新発田市から訪れているという保護者が何人もいた。その人たちは買い物も東区のイオンや原信を利用するという。

市民の子育ての利便性向上だけでなく他市町村からの親子の利用を促し、ひいては定着人口増をねらって作られたのが岩手県紫波町の図書館・子育て支援施設・商業施設の複合施設「オガールプラザ」だ。

人口3万4千人のまちに約500㎡の「子育て支援センター（親子の遊び場）」「オガールプラザ」はJR紫波中央駅の目の前に、駅前の再開発に伴って作られ、年間30万人が利用する。紫波町の人口が3万4千人であることを考えれば、驚異的な数字だ。駅前立地で盛岡市から電車で20分、紫波ICから車で10分、さらに駐車場は無料。交通便利性の良さ、図書館・子育て支援センター以外に、産直・学習塾・カフェ、医院などの商業施設の併設が集客につながっている。

利用者に特に喜ばれているのが、子育て支援センター「しわっせ」である。広さは約500㎡、市福祉課職員（保育士など）7名で運営していて、オープン以来9か月で利用者は2万人を超えた。町外の利用者は全利用者の約4割にのぼる。「利用見込みは1日10～20組でしたが、オープンしてみたら多いときは1日80組も利用し、すでに手狭。倍以上広くても良かったと感じています（紫波町福祉課主任・坂下貴子さん）という。これ以上の受入には施設拡張と

らなるマンパワーの充実が必要だという。

同様に図書館と子育て支援施設を併設した塩尻市（人口約6万8千人）の「えんぱく」の子育て支援センターの広さは約500㎡、隣にある親子の遊び場「あ・そ・ぼ」の広さは約1千400㎡と広い。遊び場だけで新発田市の10倍だ。子育て支援施設の利用者は年間7万人を超え、利用者の約2割は隣の松本市の人たちだという。0～5歳までの利用で、発達に応じてスペースが分かれているが、冬場は1日最大300組が利用するので、「収容しきれない」という。

新発田市の現状と他自治体の成功事例をみれば当市の「子育て支援施設」も利用者・担当者への声を最大限聞きつつ、早急に改善すべきである。新発田駅前に移転する際は十分な広さと運営スタッフの充実が望まれる。

また、「いきいき館」に残される高齢者・障がい者向けの新施設計画も早急に検討されなければならない。

コラム

天田昭次と堀部安兵衛

秋の気配・キキョウ

▼天田昭次遺作展の記事の取材をしていたら、面白い話を聞いた。天田の日本刀作刀の師・栗原彦三郎に政治家の道を諦め「刀一本でいけ」と叱咤し、日本刀鍛錬伝習所の運営に専念させたのはアジア主義の巨頭・頭山満だというのだ▼日本刀鍛錬伝習所に入った天田は昭和17年、頭山に贈られた短刀120振を手入れするために頭山邸に通っていた。すべて終わると「苦労」と言ってガマガチをくれた。開けたら100円入っている。驚いたという▼この頭山は「武士道精神の復興」を主唱していた。その関連で、九州日報の主筆だった福本日南らに『假名手本忠臣蔵』にみる義の心を称揚すべく、浪曲師・桃中軒雲右衛門のために『義士銘々伝』の台本を書かせた▼この本が素晴らしく良かったこともあって雲右衛門は大評判となり、堀部安兵衛は大石内蔵助に勝るとも劣らぬ大スターになった▼雲右衛門は新発田で安兵衛顕彰碑を作ると聞いて所有の義士堂を寄贈、それを納めるため義士堂が建立され、その格天井・壁に賛同者の書画が奉納された。当然のように、頭山満の書も飾られている▼頭山が栗原に日本刀の作刀指導に専念させなければ不世出の芸術家・天田はなかったかもしれないし、頭山が福本に雲右衛門の台本を書かせなければ義士堂もなかっただろう。（阿部）

1

駅前・子育て支援に「子ども一時預かり」を

現在のいきいき館・猿橋コミュニティにはともに「子ども一時預かり」機能はない。面積の制約、人員・ランニングコストの問題などを解決しなければ、この機能を付加することはできない。しかし、JR新発田駅前に「親子プレイルーム」を移転し、一般図書、児童図書、読み聞かせとの複合施設となれば、なおさらこの機能は便利なものとなり、新発田市の子育て支援は大きく前進する。保護者は「子ども一時預かり」を利用して、子どもを預けて併設の図書館・多目的スペース・キッチンスタジオの利用が可能になるばかりか、同時に計画されている商業施設や付近の商店での買い物、医院の利用、サークル活動への参加などが簡単にできるようになるのだ。

先述の塩尻市・紫波町などの「子育て支援センター」にはこれと類似した機能がある。利用は市民・町民または市・町に通勤・通学する人などに限られていて、運営も直営だったり民間（NPO）委託だったりしているのだが、これら運営の問題は利用者・担当者など今後検討していけばよい。また、塩尻市・紫波町などの「子育て支

援センター」では図書館で行う読み聞かせ活動をその利用者に告知、逆に図書館では子どもたちや保護者に対して「子育て支援センター」での各種イベントを告知するなど、相互に連携して利用者の利便性を上げている。

新しくできる広い「親子プレイルーム」可能なら1km²程度の広さはほしい。そこで自由に遊んでいるうちに、保護者同士が子育てについて情報交換したり、見守っているときに保護者や保育士さんが子どもの発達に疑問を持ったら気軽に相談し、場合によっては専門家につながるなどすれば子どもたちにとっても保護者にとっても有益だ。猿橋コミュニティの「親子プレイルーム」「サークルルーム」なども駅前に移転するなら、そのスペースを利用して猿橋コミュニティの「ひまわり学園」（児童発達支援センター）の機能を充実して、つまり子ども発達相談や障がい児たちへの支援をさらに強化してはどうか。

市民参加で継続的に議論を続けてほしい。



塩尻市「あ・そ・ぼ」。奥が見えないほど広い



塩尻市「子育て支援センター」。自然とママ仲間ができる



新潟市ほんぽーとの「こどもとしょかん」



紫波町の「こども図書館」。表紙展示が多い

新しい図書館は広いだけでなく徹底した使い勝手の良さを追及

駅前図書館の新設にあたって、どのように運営すべきか、よく図書館を使うという本紙読者の方に聞いた。示唆に富んでいる。新発田図書館は「悪いんですけど、本が少なくて古いのが残念です。建物も古いですけど（笑）。新刊でも文庫本でもすべて読めるのが理想。とくに大好きな『時代物』の小説を充実してほしい（笑）。それと姉の住んでいる千葉の市川市ですとパソコンで予約できて、新刊でも予約すれば読める。パソコンは役所にも公民館にもあってそこから予約できます。移動図書館があって予約すれば運んできてくれます。図書館ではボランティアさんが大活躍して、あと雑誌が充実していて」と女性のS・Hさん。とにかく「新刊がすぐ読める」ことを強く望んでいるという。

さらに「駐車場がいつもいっぱいなのは困ります。私はよく市役所に止めるんですけど駐車場は充実してほしい。暗いのも嫌ですね。あと子どもに耳で聴かせるだけでなく、大人や高齢者向けに、本をCDに入れてくれるサービスとか、子どもにやさしく新発田の歴史を教えてあげられるような、そんなこともできるといいですね。それと、使いやすくなるには、食べたりつるげることでも大事ですし、交通の便がいい、バスなんかがしょっちゅう止まるようにしてほしい」と続けた。

大の好きだが、新発田図書館は使い勝手が悪いので使うのを諦め、新潟市に勤めているので新潟市の図書館「ほんぽーと」の超ハードユーザーになったという石川里美さん。「新発田ってお金がないのか、あまり本がないみたい。で、新発田図書館で読みたい本をリクエストしたら裏に沼垂図書館って書いてあった。あつ私が読みたい本って『ほんぽーと』にあるんだって。それ以来新発田図書館には行ってません（笑）。あと、新発田では蔵書検索はできませんが、ネット予約できない。『ほんぽーと』だとネット予約できて、行くとカウンターに出ている。仮に誰かが借りていても本が返ってくると、ご予約の資料が届きましたって、メールが届きます」と絶賛。

「ほんぽーと」はサービスもいい。あの空間自体も楽しい。広げて明るいし、あとイトインコーナー。持ち込みOKだからお弁当も食べられます。あそこなら一日中いれる。新発田でもそうしてほしい。勉強コーナーが独立しているのいいし、20時までオープンしているのがすごい。勤めが終わってから寄れる。でないと私は土日しか利用できません。もっとも今は子ども連れて土日も行きますけど（笑）。新しい新発田の図書館もそうなるといいんですけど…。駅前にできるのいいですね。高校生とかも利用しやすくなりますよ」。

蟻塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長畑 284-1 TEL.0254-23-6851	介護老人福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800	(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL. 0254-24-1761
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	篠田労務管理事務所 新発田市新富町 1-5-9 TEL.0254-22-5649	複合型福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田市諏訪町1-10-38 TEL.0254-24-1111	(株)ワゴードライ 新発田市佐々木 3445 TEL.0254-27-2261
(株)伊藤組 新発田市島潟 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711	四季折々の美味 割烹旅館 多奈可や 新発田市稲荷岡 2066 ☎0254-41-2013	
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101		
(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011	はな やす 葬儀 花安 新発田斎場 24時間受付 ■斎場 / 新潟県新発田市荒町 1521 ■仏事センター / 新潟県新発田市荒町 1490 TEL (0254) 22-1320 FAX (0254) 24-5156	
SODデザイン 高橋智志 新発田市新富町 1-1-3 ストライビル2階 TEL.0254-24-5121	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000		
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-22-3497	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191		
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	新潟ファームサービス(株) 新発田市五十公野 4104-1 TEL.0254-20-3828		
(有)クサカベモータース 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311	フジマ舗道(株) 新発田市島潟 4197-3 TEL.0254-26-5030		
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字鳥越 4666-1 TEL.0254-28-5136		
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700		
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010	村上館湯伝 新発田市月岡温泉 230 TEL.0254-32-2231		

天田昭次
遺作展

間近で見ても感じる
天田昭次が刀に込めた美

8月17日(土)～9月30日(月)まで、
月岡温泉の刀剣伝承館(カリオン文化館・
入場無料・水曜休館)で、人間国宝で新発
田市名誉市民の美術刀剣作家・天田昭次の
遺作展が開かれている。これは今年6月、
85歳で逝去した不世出の芸術家を偲ぶため
のものである。日本刀の最高賞である正宗
賞2度目の受賞作で相州伝の刀、新発田城
復元記念の太刀、豊浦町開町記念の刀など、
刀剣伝承館の普段の展示の他に、今回は特
別に55世横綱北の湖が土俵入りで使った太
刀、中越地震など数々の災害に見舞われた
新潟県の復興を祈念して作られた剣など、
約20点が展示されている。作刀時期や作風
の異なる作品が一堂に会する機会はまたと
ない。また、書を能くした天田書の「汲古」
「雨洗風磨」の掛け軸など、さらに作刀過
程や天田愛用の遺品なども鑑賞できる。

天田昭次は日本刀の新作名刀展の最高
賞・正宗賞を3回受賞した。自家製鉄で、
山城伝・相州伝・備前伝それぞれで傑出し
た美術刀剣を生み出したからである。日本
作刀史上、天田しかできなかった偉業であ
り、芸術家・天田が不世出といわれるゆえ
んである。

刀とふるさとをこよなく愛した
天田の真骨頂を正宗賞受賞刀に見る
自身2回目の正宗賞受賞となった刀は、
刃長73・9cm、自家製の鉄(すく)を奥出
雲の鍛錬法で鋼(はがね)とし、「ザクッ
と鍛えた」(天田の二女・天田恵さん)とい
う。「ザクッ」とは、折り返し鍛錬の
回数をあえて少なくしたことを指す。地肌
は板目に大板目が混じり、焼刃は相州伝ら
しく沸(にえ)が深く、湾(のたれ)が程
よく交っている。これは写真などでは再現
が難しく、現地で本物を角度を交えながら
眺めると、しっかり確認できる。

印象としては全体として穏やかで控えめ
な表現であり、ふるさとの「真木山」をイ
メージしたのではないかと想像される。

3回目の正宗賞受賞作の備前伝の太刀
(十日町市・早と森の美術館蔵、9月29日
(日)まで「追悼天田昭次」展開催中)の
丁子乱れの刃紋をもつ太刀とは対照的な景
色である。この機会にぜひ鑑賞してほしい。
なお、現在所在不明の最初の正宗賞受賞作
は山城伝、品のいい直刃だった。

新潟県復興祈念剣は、すべての災厄を振り
払う不動明王の剣に倣ったもので、梵字
が象嵌されている。形は鋭く端正でありな
がら、どこかに穏やかさを感じさせるのは
天田のやさしい人柄が映し出されたものか。



刀剣伝承館・カリオン文化館展示風景

そのほかにも名品ばかりであり、それぞれ
に物語があるが、「先入観を持たずに一人
ひとりの感性で刀の美しさを感じてほし
い」というのが天田の願い。何を感じ、何
に感動するかは人それぞれだ。まずは遺作
展に足を運び、自分の目と心で鑑賞してほ
しい。自家製鉄という日本作刀史上誰も試
みることのなかった独自の手法で、美術刀

剣を芸術の域にまで高めた天田昭次は、ま
さに当地で生まれ、月岡の地が育てたのだ
から。

濃厚・柔和な人柄だが
作刀には一途一徹、妥協はなかった
天田の美に対する追究は際限がなかつた。

普通の刀匠は製鉄された材料を仕入れて
て作刀する。しかし、天田は鉄鉱石や砂鉄
の収集から始めて自家製鉄した。「小さい
頃、よく父と鉄鉱石を探しに行きましたし、
叔父(収貞・天田の末弟)と江の島の海岸
で工業用の磁石にひもをつけて砂鉄を集め
たという話も聞いたことがあります」と恵
さんは当時を回想する。

天田は鎌倉後期から南北朝に至る時期の
作刀技術が頂点と断じ、それに勝るとも劣
らぬ刀を作るためには、当時の「鉄」を自
ら作るしかないことに決め、それを実践し
たのである。

また、お客さんや情報の多い東京への転
居をたびたび勧められたが、ふるさとを離
れることはなかった。それはふるさとへの
愛着もあるのだがそれだけではない。自家
製鉄は天田の代名詞だが、製鉄用の炭を自
ら焼くための赤松、焼き入れに使う伏流水、



撮影：トム岸田

刃文を描く
粘土など
自家製鉄と
作刀に必要
なものが工
房の近くで
すべて手に
入ったから
だ。「月岡の
地が作刀す
るためには最適の場所だったのではないで
しょうか」(恵さん)。

また、刀剣の目利きとして名高かった鍋
茶屋の先代など、一途に最高の刀を生み出
そうとする天田を支援する人々がたくさん
いたことも大きかった。恵さんは「鍋茶屋
さんはいろいろなことを教えてくれたよう
で、よく電話で何時間も話していました。
そんなに長く話すなら古町まで行った方が
早いなんて、家人は笑っていたものです。
春にはうちの近くで、名物の卵焼きや鰻
走をつめた重箱を持ってきて花見もしまし
た」と当時を懐かしんだ。

そして、父・昭次の生き方を一言で表す
と「清貧」となり、作刀の姿勢は「汲古」
作品は「清澄」。鉄なのになめらかに黒光
りし吸い込まれるほどの深みは、まさに「清
澄」である。龍が刻み込まれた太刀は蛙子
丁子が見事な力強い作品、また大作ではな
いが父・昭次が好きだったという砂流しが
現れた短刀も、あくまでも「清澄」である。

大杉栄メモリアル 2013
～映像と言葉で日本の近現代史を振り返る～

第一部 ドキュメンタリー映画
「100年の罅(こだま) 大逆事件は生きている」
(2012年/藤原智子監督/90分)

第二部 講演
「大杉栄と辻潤～伊藤野枝の眼で読み解く」
講師：森まゆみ(作家)

講師紹介……森まゆみ
1954年東京生まれ。早稲田大学政経学部卒業。地域雑誌「谷中・根津・千駄木」を3人の女性で創刊し、編集人となる(2009年終刊)。1988年、『鳴外の坂』で芸術選奨文部大臣新人賞受賞。最近作『青箱の冒険』(平凡社)では、平塚らいてうや伊藤野枝が描かれている。また、最近まで栗島に通い、聞き書きをしていたという。

とき 9月16日 月・祝日
13:00～16:30(開場 12:30)

ところ 新発田市民生涯学習センター講堂
☎0254-26-7191

主 催：大杉栄の会
後 援：新発田市民教育委員会(申請中)
チケット：前売1,000円 当日1,500円
(18歳以下・障害者等の付き添いの方は無料)
プレイガイド：喫茶「紫音」(新発田市民文化会館内)
問合せ先：斉藤(☎/FAX.0254-22-3372)

清塚信也
Shinya Kiyozuka
ピアノコンサート

新発田市民文化会館
開演 14:00(開場 13:30)
全席自由 小中学生 1,000円
(当日同料金) 一般 2,000円
未就学児入場不可

9/23 (祝)

「のだめカンタービレ」や
NHK大河ドラマ「龍馬伝」での演奏、
映画「さよならドビュッシー」への
出演等で話題沸騰!
は日版 No.1 の人気ピアニスト!

誰もが一度は耳にした名曲&爆笑トーク!?
クラシックコンサートの常識を超えた
清塚信也の世界

親子ペア(小学生以上)
**3組(6名)様を
ご招待!!**
本紙感想・ご意見、住所・
氏名・電話番号を明記の
上、表紙左上の住所
宛までハガキにてご応
募下さい。
※平成25年
9月10日(火)必着

【プレイガイド】喫茶「紫音」Tel.22-52726、下越音楽鑑賞協会Tel.22-1404、
市観光案内所(駅構内)Tel.26-6321、地域交流センターきやり館Tel.22-1254
まちの駅Tel.26-6789、わたじん楽器新発田店Tel.23-5975、
ヤマハユニスタイル新発田センターTel.26-5455、豊浦地区公民館Tel.22-2081
紫雲寺地区公民館Tel.41-2291、加治川地区公民館Tel.33-2433

《チケット好評発売中》
問い合わせ先：新発田市民文化会館 ☎(0254)26-1576

とんとんフェスタ **8月30日(金)**
9月1日(日)

日替わりで“旬”の
果物や野菜が
2割引!

農家の直売所
とんとん市場

●新発田店 9:00～18:00
新発田市荒町1480
☎0254-20-2229
●松崎店 9:00～19:00
新潟市東区新松崎1-6-14
☎025-274-2229

24年産コシヒカリを
最終大ご奉仕価格!!

新発田店地図:
↑新潟
新発田IC R7 中条→
新発田南高校 R7 第四銀行
豊浦病院 R200 新発田駅
イオン R400 花安 月岡温泉
↓旧水原

松崎店地図:
↑新潟空港
小嶋屋 総本舗
湯ったり苑
カワチ R200 新発田駅
イオン 一日市IC R7
海老ヶ瀬 IC 新発田→

今、厳しい時代だからこそ つながっていかなくては

9月1日(日)、第59回新潟県母親大会が新発田市民文化会館と生涯学習センターで開催される。県内各地から母親・女性たちが集まってその願いや要望を話し合い、学びと交

始まりは約60年前、母親と子どもたちの環境改善に大きな足跡を残してきた

——この大会の経緯を教えてください。

高橋「昭和30(1955)年に平塚らいてうさんがビキニ環境の核実験をきっかけに国際民主婦人連盟に呼びかけて始まりました。最初は原水爆から子どもたちを守るというところだったのですが、やがて『母親が変われば社会が変わる』として、お互いにいろいろと学び、交流して、活動の輪を広げてきました。いわゆる『母親運動』です」

——どんな問題に取り組んできましたか。

八幡「始めた当時、小児マヒがすごくはやっていて、生ワクチンを緊急輸入してほしいとか。それとアメリカからきた脱脂粉乳があれ、虫が入っていたりして結構すごかったし、消化不良で下痢したりね、それで生乳にしてほしいという運動ですね」

高橋「ありがたかったんですけど、脱脂粉乳、アメリカでは家畜用だったんですよ」

流を深める催しだ。一般の人も参加(入場会員券800円)でできる楽しい交流と学びの場だ。大会の開催を前に実行委員会の八幡明子さんと高橋芳子さんにお話を聞いた。

八幡「それと保育所が全然足りなかったのでも『ポストの数ほど保育所を』という取り組みをしました。今はポスト、あんまり見なくなっただけ(笑)」

高橋「高校全入運動というのもありました。新発田でもありました。県に働きかけて、西高校を併学にしてみたり、あとそれでも高校が足りないから南高校をつくってみたり。新発田の母連(母親連絡会)というのが中心になって一生懸命やりました」

——はあ。50年前にはもうあったんですね。

八幡「あったんです。この大会を成功させるために連絡会ができたんですけど、日常的にもいろいろ活動していたんです。上手くいかないことも多かったんですけどね(笑)」

取り組みは時代とともに変わってきたが母親・女性からの視点に変わりはなく

——最近取り組んでいる問題は？

八幡「介護とか、3・4年前は環境問題、最近では原発の問題とか、具体的な取り組み

は時代によって変わってきています」

高橋「そういういろんな問題で話し合っただけで決断して、母親連絡会として関係官庁に陳情・交渉して、問題の解決を目指します。今年も分科会で話し合われるんですが、最近では『私らしく生きる』『つまり男女共同参画、自己実現ですか、そういうテーマが人気です』

——母親のため、子どものためというのは別次元の問題なんですか。

高橋「別次元ではありませんよ。この頃は少子化もあり、もちろん母親でない女性もいますので、この『母親大会』という名称がね」

八幡「要は女性の大会なんですよ」

高橋「先ほども触れましたが、『母』としての役割だけでなく、自分らしく生きたいという要求が広がっているんです。それは女性のわがままなんかではない。職場・家庭で『性役割』が再生産されていく現状にがまんできないという精神が育っているんですよ」

——それってこの大会のキモですね。

高橋「はい。母親運動の原点は平和と子ども。女性が自己犠牲的に『母』になるので

はなく、女性が子どもの権利保障の担い手になるということなんです」

——だから、全然別次元ではないと。

高橋「だから大会の名前も『母親大会』のまま変えません。子どもを産む産まないにかかわらず、女性は母性をもっていますから」

八幡「大会にも子ども連れて来るんですよ。ですから子どもが楽しめるイベントや工夫もありますし、託児所もあるんです」

——今年の分科会のテーマも今日的ですね。

高橋「放射能と食べ物、TPP、介護、絵手紙、憲法、それと教育ですね。いじめ・体罰・教育費、いろいろありますね。参加者から悩みや起きていることを聞いて、それにいろいろアドバイスし合ったり…」

——いじめとか、解決策はありますか。

八幡「難しい。まず30人学級から。子どもたちへの目配りが森羅いますから。それと教員がもっと自由になれないと、余裕がないと。子どもと向き合う時間が必要なんです」

——最後に、今なぜ『母親大会』なんですか。

八幡「今、女性だけでなく男性もみんなバラバラにされている。孤独死はその典型。それはなくさないといけない。そうじゃないよ、一人じゃないんだと、日常的につながっていくことが今この厳しい社会状況だからこそ、すごく大事なんです。母親でも子どもでも高齢者でも、一人ぼっちにしない。その場が『母親大会』『母親大会』の意義なんです」

生命を生み出す母親は
生命を育て生命を守ることをのぞみます

2013年 第59回

新潟県母親大会

母親大会は、県内各地から母親・女性たちが集い、ねがいや要求を語り合い、学び合い、交流を深める場です。あふれる思いを話し合い、運動につなげましょう。初めてのあなたも、そして親子ごいっしょに、どうぞ誘い合ってお出かけ下さい。

9/1 (日) 新発田市民文化会館
新発田市中央公民館・
新発田市生涯学習センター

※会員券 800円 ●お弁当は要予約
●飲み物は出来る限りご持参下さい

受付／9:30

●分科会／10:00～11:50

(新発田市中央公民館・新発田市生涯学習センター・新発田市民文化会館)

＊「いま・学校で…」—学習・いじめ・体罰・教育費など—

＊地域の介護のあり方を考えよう

＊放射能と食べ物

＊うたごえ広場—うたう遊び、生きる喜び—

＊絵手紙—実技、発表、初心者も大歓迎

—事前申込み 7/31 まで—

＊人間らしく働き続けたい、仕事も生活も大切に

＊いまこそ日本国憲法の生きる日本を

—96条・9条——

＊TPPに参加するとどうなるの

—くらしの中から考える—

＊私らしく生きる—政策・方針決定過程への女性参画の拡大、男性・子どもにとっての男女共同参画—

＊子どもを育む絵本と遊び＊—読み聞かせ・簡単工作・リズム—

●全体会／13:30～15:30

(新発田市民文化会館)

記念講演 清川輝基さん
(NPO 子どもメディア代表理事)

「メディア漬けで壊れる子どもたち」

【プロフィール】

1942年生まれ、東京大学教育学部卒業。NHK入局。社会報道ディレクターとして「新日本紀行」「ニュースセンター9時」「NHK特集」などを担当。66年「福岡子ども劇場」創立。現在はNHK放送文化研究アドバイザー。(元NHK長野放送局長)

後援／新潟県・新潟県教育委員会・新発田市・新発田市教育委員会・阿賀野市・阿賀野市教育委員会・胎内市・胎内市教育委員会

主催／第59回新潟県母親大会実行委員会

開催／新発田地域母親大会実行委員会・阿賀野地域母親大会実行委員会

連絡先／新日本婦人の会新潟県本部

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332-67

☎ 025-223-5220

FAX 025-223-5221



Jiji's bike Café (じじちゃりカフェ)

自転車が叶えた夢のカフェ

和、洋、中、アジア料理の店で仕事を重ねた後、じじ(祖父)愛用の自転車でシフォンケーキなどを売り走って5年目、念願のカフェをオープンさせた。自転車時代にも評判だった「ふわしゅわシフォンケーキ」はもちろん、地に足がついた今ではイタリア風、タイ風、和風、中華風とバラエティに富んだ「おじや風リゾット」やフォー、ハンバーガーがメニューに加わり、子供と一緒にママや若者、お年寄りグループも満足できるお店となった。

大人気のシフォンケーキは無くなり次第終わってしまうので、お早めに！



Jiji's bike Café

☎0254-28-8708

新発田市中谷内甲47-23

営／11:00～17:00(ランチタイム) 17:00～21:00(LO20:00)

休／木曜・第1金曜 収／20席

P／6台(スペースが限られているので、なるべく乗り合わせて来店を)

http://jijisbike.jimdo.com/

ランチのドリンク
ランクアップ券
※本誌をご持参下さい
※9月末日まで有効